

横浜都心部における コミュニティサイクルの取組



内容

1. 社会実験(H23～25年度)の概要
2. 社会実験の成果
3. 本格実施(H26年度～)に向けた取組

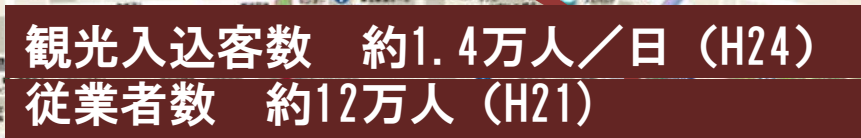
1. 社会実験の概要 (H23~25年度)



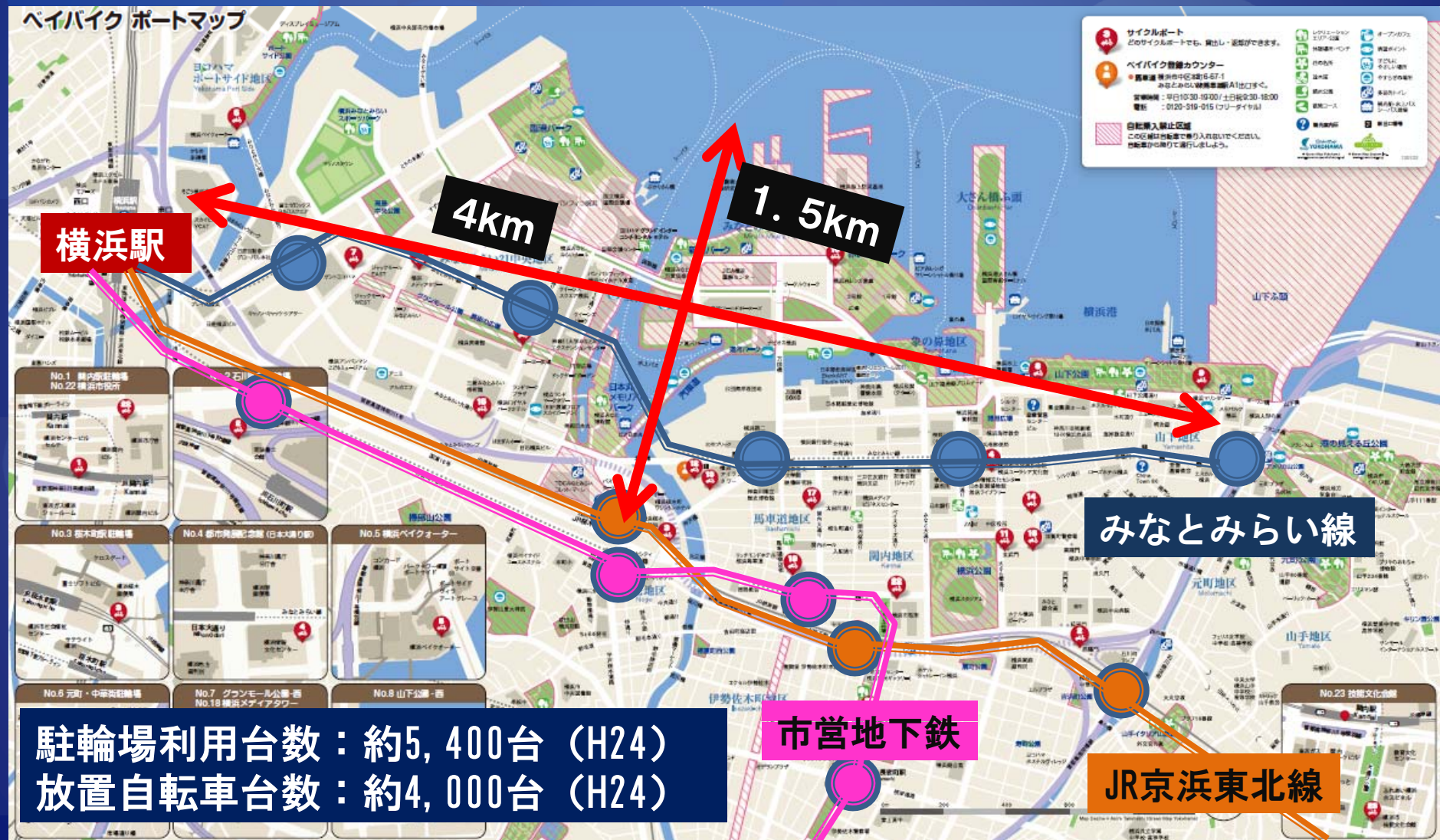
社会実験の概要

- 期間：平成23年4月25日～平成26年3月31日
- 地域：みなとみらい地区、関内地区を基本
- 規模：自転車300台、貸出・返却拠点34箇所
- 体制：（実施主体）横浜市 都市整備局
（運営主体）株式会社NTTドコモ

横浜都心部の概要



横浜都心部の概要 (鉄道)



目的と期待される効果

〈目的〉

〈効果〉

コミュニティ
サイクル

回遊性の向上

観光振興

地域の活性化

マイカーから
公共交通への
転換

公共交通機関の利用促進

CO₂の削減

役割分担（協定書で定めている）

- **実施主体：横浜市の役割**
 - ・ 社会実験の統括
 - ・ 実験実施に必要な**サイクルポート候補地を確保**
 - ・ コミュニティサイクル推進のための広報
 - ・ 効果検証や調査 など
- **運営主体：株式会社NTTドコモの役割**
 - ・ **施設整備及び運営**
(サイクルポート設備や自転車等の設置、管理)
 - ・ 規模拡大のためのサイクルポート用地の確保
 - ・ 採算性向上のため、付帯する事業を実施できる
(コミュニティサイクルの料金収入および付帯事業収入は運営主体の収入となる) など

ポート設置場所

- 市が確保している24か所の内訳

	分類	箇所数
公共 用地	駐輪場	4
	公園	3
	道路（占用）	1
	その他公共用地	8
民有 地	公開空地等	1
	その他民有地	7
合計		24

- 運営主体で10か所確保し、合計34か所

ポート機材



ポートサイズ（7台）：約5m×1.6m
（1か所あたり駐輪機器 5～28台）



料金、時間

- **料金**

- **登録料金** 無料
- **利用料金**

	基本料	利用料	予約
月額会員 プレミアム	1,575円/月	最初の60分 0円 超過30分毎 105円	ご利用の30分 前から予約可
月額会員	1,050円/月		—
1日会員	525円/日		—
1回利用	105円/回		—

- **時間** 6 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0

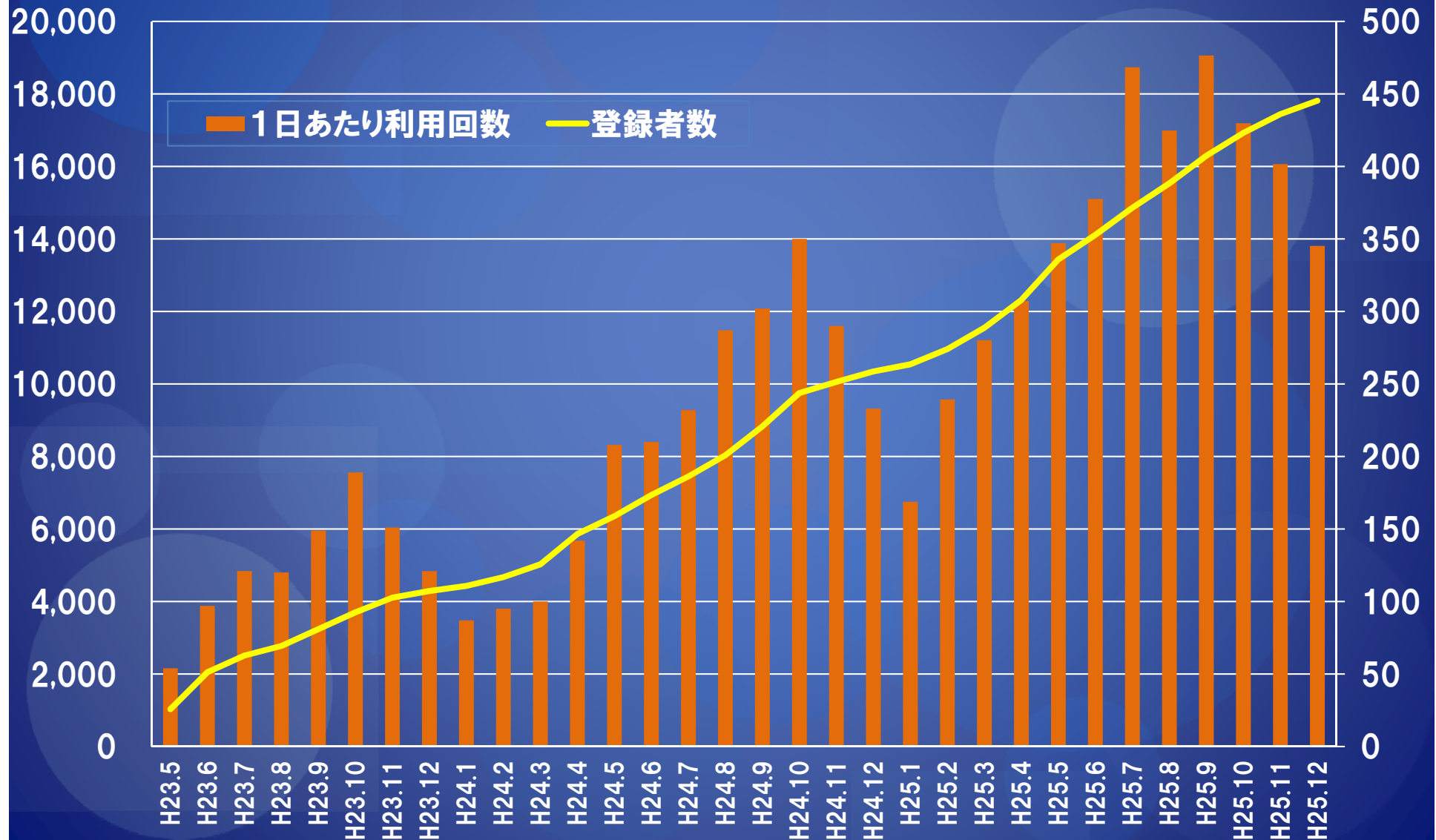
2. 社会実験の成果



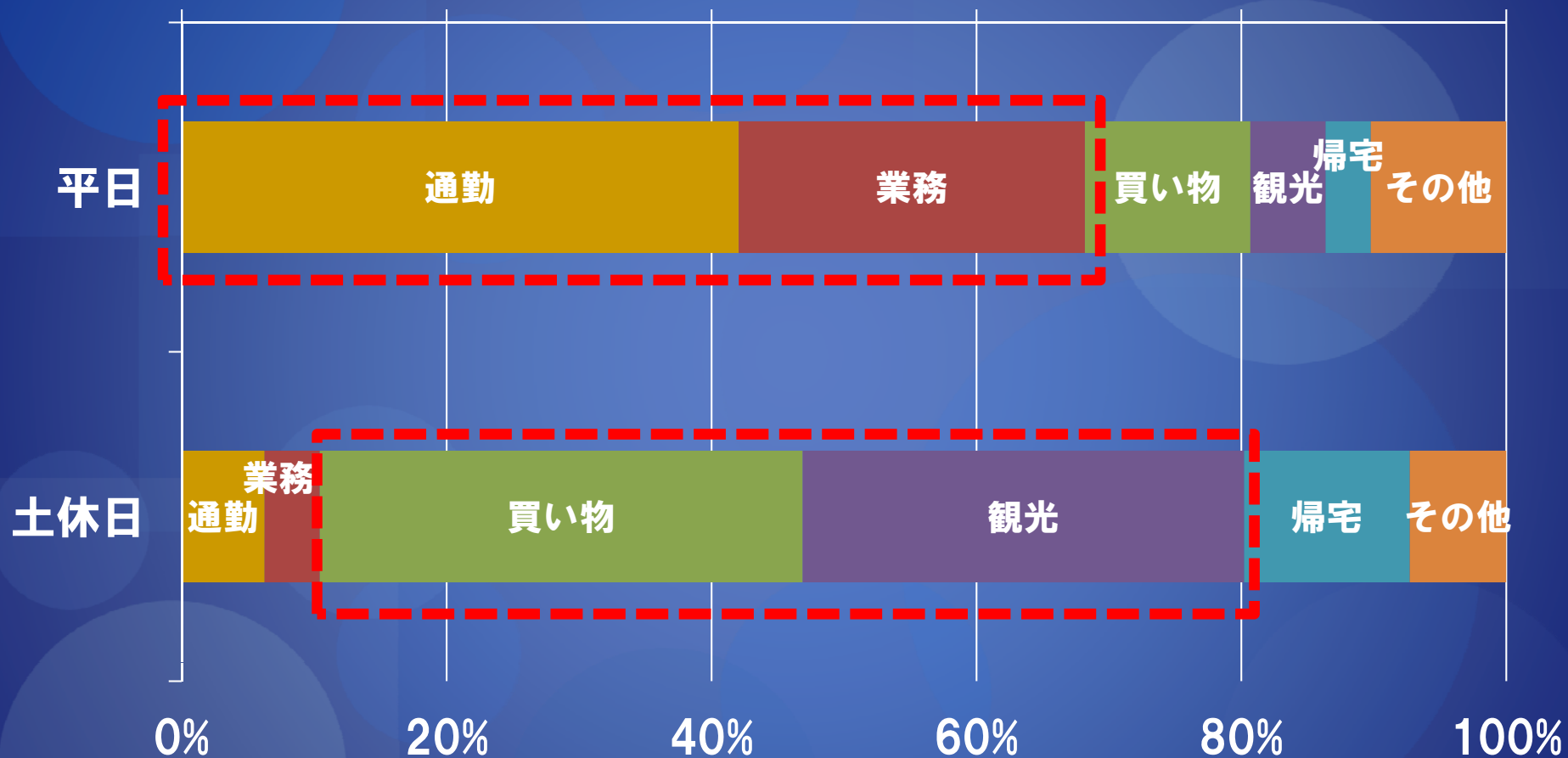
登録者数、利用回数の推移

1日あたり
利用回数 (回)

登録者数 (人)



利用目的（利用者へのヒアリング調査）



主に、平日は通勤・業務に使われ、休日は買物、観光に使われている。

利用状況 平日 (H24.1~9 利用回数の多い移動)



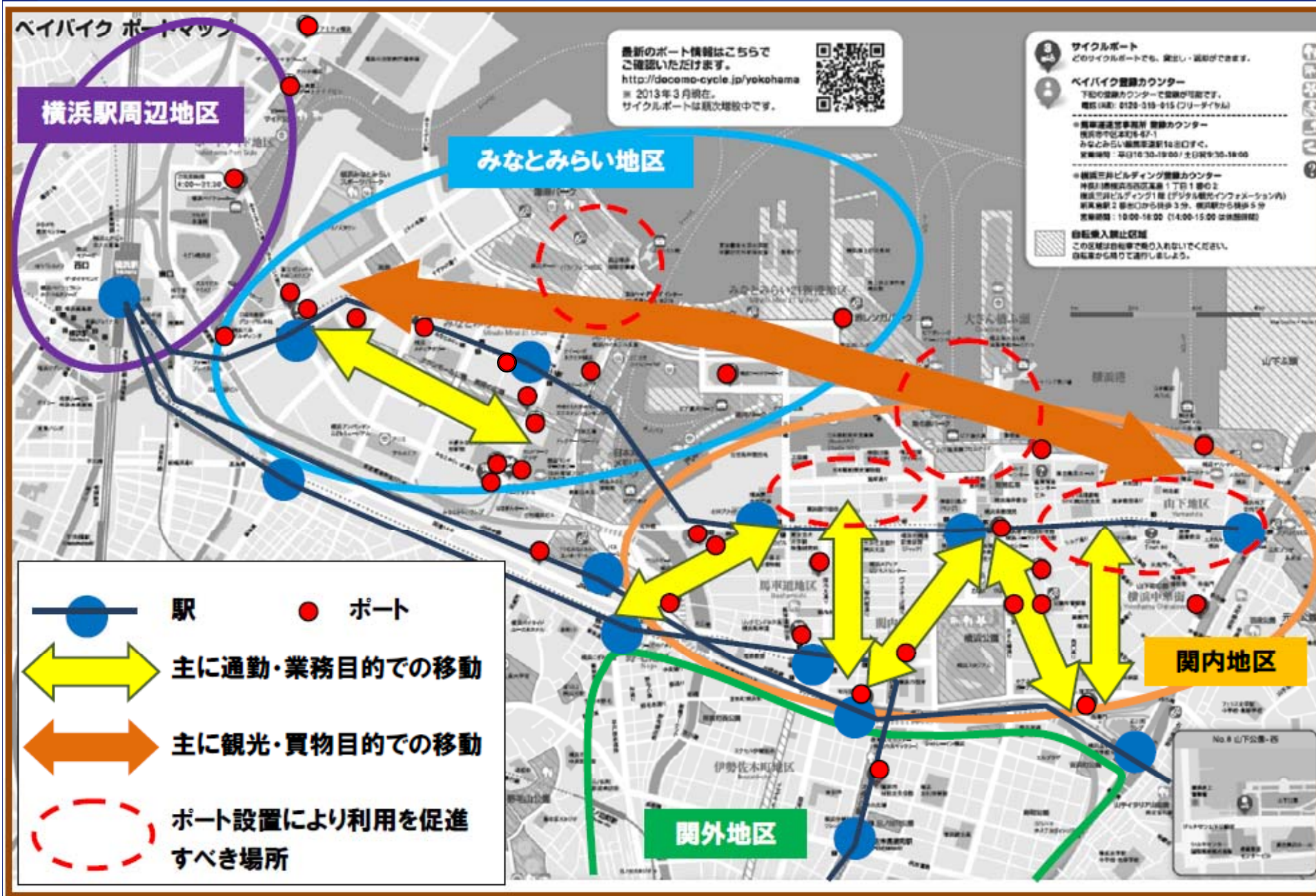
横浜・新高島駅周辺とみなとみらい地区や関内駅と海側の移動が多い

利用状況 休日 (H24.1~9 利用回数の多い移動)

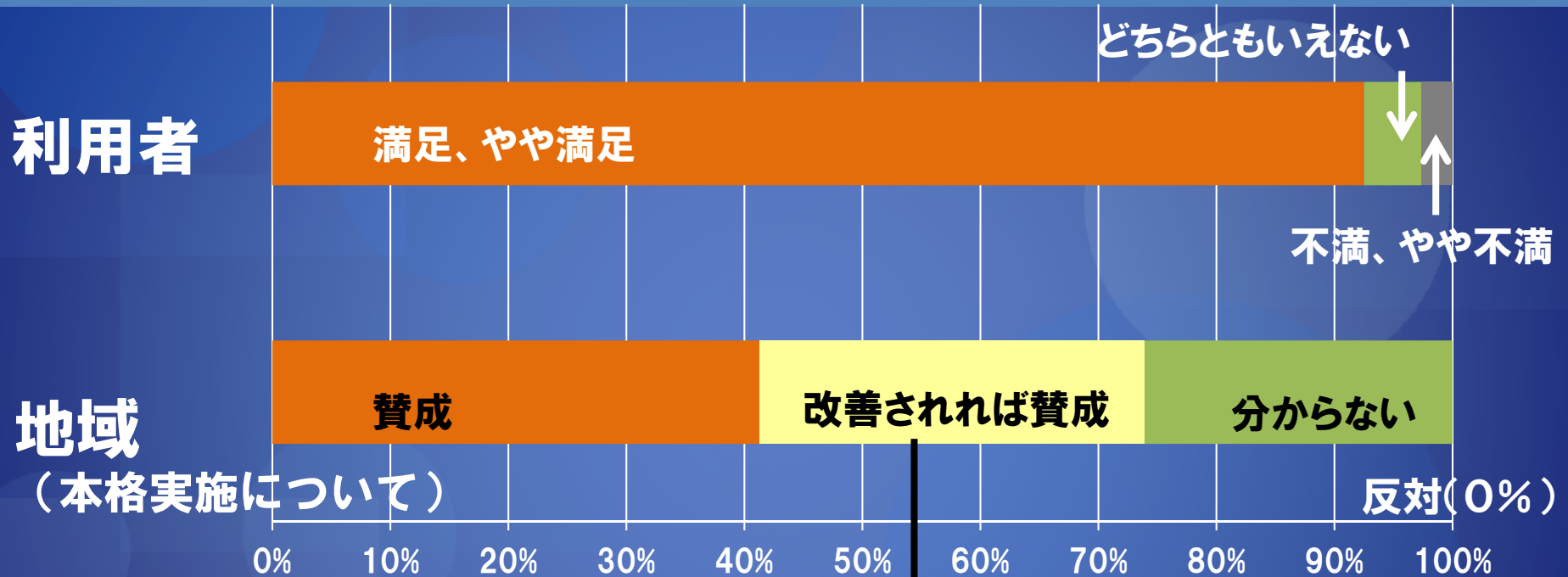


新港地区など、海沿いの移動が増えている。
距離が比較的長い移動が増えている。

利用のイメージ



コミュニティサイクルの評価



- ・自転車走行環境の整備
- ・エリアやポートの拡大
- ・広報の充実



利用者の満足度が高く、地域も本格実施に向けた期待が高い。

社会実験の成果（まとめ）

規模の拡大

- ・ ポート（貸出返却拠点） 14か所→34か所
- ・ 自転車 100台→300台

利用の増加 ※H25.12.31現在

- ・ 登録者数 約18,000人
- ・ 利用回数 114回/日（H23年度）→約400回/日（H25年度見込）

高い評価 ※利用者および地域アンケート調査結果

- ・ 利用者 満足度 92%（n=611）
- ・ 地域 本格実施に向けた賛成 74%（n=46）

まちの賑わいづくり ※利用者アンケート調査結果

- ・ 街で楽しむ時間が長くなった 76%（n=623）
- ・ 観光・買物目的での滞在時間増加 48分（n=79）

3. 本格実施(平成26年度～)に向けた 取組



概要

- 社会実験の成果をふまえ、H26年度から本格実施を進める。
- 期間：平成26年4月（予定）～平成31年3月
（平成36年3月まで延長可能）
- 地域：みなとみらい地区、関内地区を基本
- 規模：自転車300台、貸出・返却拠点30か所程度から開始し、順次拡大を図る。
- 体制：（実施主体）横浜市 都市整備局
（運営主体）未定（2月中に決定）

社会実験をふまえた課題と対応

● 採算性の確保

→現在の利用回数では、採算性を確保するためには、利用1回あたりの単価が高くなってしまったため、利用者負担の軽減および利用促進の目的で、**利用1回あたり定めた単価**を市が負担する。（**最大5年（6年目以降は採算が取れることを前提として運営者の経営努力を促す）**）

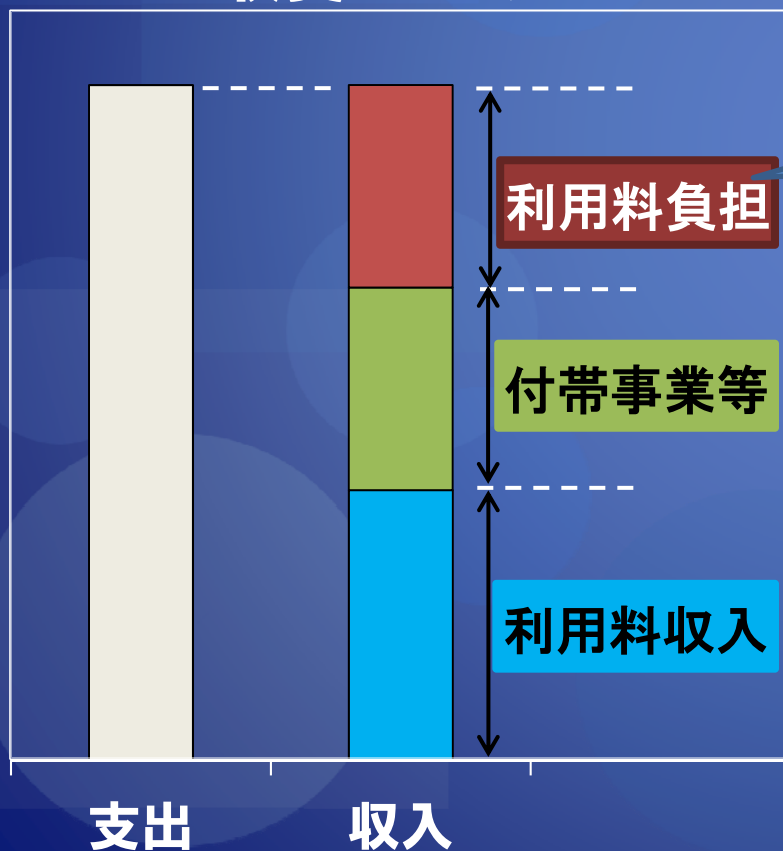
● ポート設置場所の質の向上と量の拡大

→利用促進のため、利便性・視認性の高い場所に大きな規模のポート設置が必要であり、土地所有者・所管と引き続き調整を進める。

採算性イメージ

- これらの考え方は、3年間にわたる社会実験の知見等から需要推計や収支予測を行い設定。

収支イメージ



負担金イメージ

